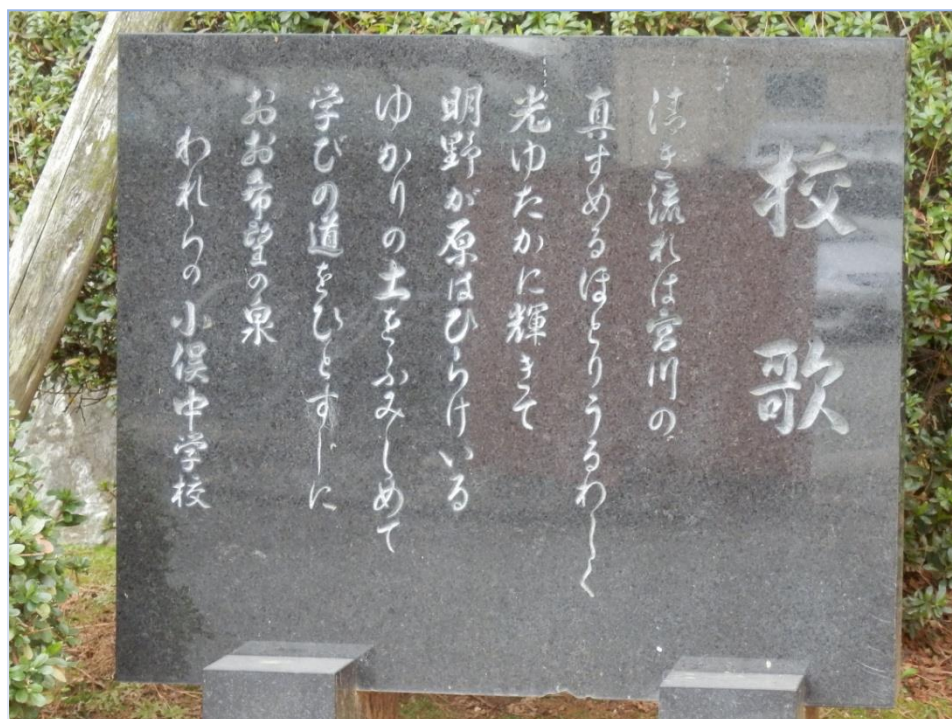


令和7年度



3学年学習案内



伊勢市立小俣中学校

目 次

国語		p 1～ 5
社会		p 6～ 9
数学		p 10～12
理科		p 13～15
音楽		p 16～18
美術		p 19～22
保体		p 23～27
技・家		p 28～31
英語		p 32～45
道徳		p 46～50

この学習案内は中学校の1年間で学習する内容です。

中学校 3年生 国語科 学習案内

1 目標

- ・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・ 論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】 「国語 3」(光村図書出版) 「新しい書写 一・二・三」(東京書籍)

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・ 学習の見通しをもち計画を立てたり、学習したことを振り返ったりしよう。
- ・ 学校図書館を活用して、学習や読書をしよう。
- ・ 自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、相手に意見を伝えたり相手の意見を聞いたりしよう。
- ・ 根拠を明確にしながら文章を書こう。
- ・ 聞き手に分かるように正確に音読したり、文章の形態や特長をいかしながら音読したりしよう。
- ・ 国語に関する用語や語句・漢字を確実に身に付けよう。辞書を活用しよう。
- ・ 先生の話や他の発表を聞き取り、要点をメモしたり必要に応じて質問したりしよう。
- ・ 聞き手に聞こえやすい速さ、大きさ、間の取り方を考え、分かりやすい言葉を選択して話そう。
- ・ 文字を丁寧に書き、書いた文章は語句の表記の仕方、使い方が正しいか確かめよう。
- ・ 板書されたこと・気付いたことなどを工夫してノートにまとめよう。

○家庭学習の例

- ・ 音読練習や漢字練習を繰り返してするほか、授業で学習した内容を中心に復習を行おう。
- ・ ワークなどを計画的に進め、授業で出された調べ学習などの課題にしていねいに取り組もう。
- ・ 読書に親しんだり新聞記事を継続して読んだりしてものの見方や考え方を広げるとともに、語彙を増やそう。
- ・ 学んだ語句や漢字を積極的に用いて日常生活の中から課題を見つけ、作文や毎日の記録を書こう。

○定期テストへの取組の例

- ・ テスト範囲に応じて教科書やノートを何度も読み返し、本文の内容や表現（新出漢字・語句）を理解し直そう。
- ・ 授業で配付されたプリントやワーク類を繰り返し活用し、復習しよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができたかどうか見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・ 論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたかどうか見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えたかどうか見ます。

4 学習内容について

【国語】 評価の規準については★の単元のみ記載しています（書写はすべて記載）

学期	単元	評価の規準
1 学期	・ 言の森 ★ 握手 ・ 【読み方を学ぼう】 回想 ★ 言葉発見 1 敬語のはたらき ・ グループディスカッション合意形成に向けて話し合いを計画的に進める ・ 漢字を身につけよう① ★ 間の文化 ・ 課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く ・ 思考のレッスン ・ 漢字を身につけよう② ★ 俳句の世界 俳句十句 ・ 批評文 ・ 言葉発見 2 和語・漢語・外来語 ★ 海を越えた故郷の味 ・ 私の読書体験 ・ 漢字を身につけよう③ ・ フロン規制の物語—〈杞憂〉とく転ばぬ先の杖〉の	【知識・技能】 ・ 時間・場所など、「現在」「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。 【思考・判断・表現】 ・ 「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開の仕方の効果について考えている。 ・ 文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 粘り強く物語の展開の仕方を捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。 【知識・技能】 ・ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで敬語などの場に応じた言葉遣いについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・ 具体と抽象など情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題に沿って考えをまとめようとしている。 【知識・技能】 ・ 俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ・ 俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。 【思考・判断・表現】 ・ 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ・ 語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読み味わう。 ・ 自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。 【知識・技能】 ・ 情報と情報との関係について理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 ・ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで考えを広げたり深めたりして自分の意見を持ち、学習課題にそって討論しようとしている。

	はざままで ・ 具体と抽象 ・ 文法の窓 表現につながる文法 ・ パブリックスピーキング 状況に応じて話す力を養う ・ 漢字を身につけよう 2 学期 ★君待つと——万葉・古今・新古今 ★夏草——「おくのほそ道」から ・ 言葉発見 3 言葉の現在・過去・未来	【知識・技能】 ・ 三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 ・ 気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している。 ・ 作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 ・ 古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。 ・ 作者や作品の時代背景を知り、古典の名句・名言を朗読している。 【思考・判断・表現】 ・ 心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。 ・ 芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。 ・ 芭蕉が見たものや感じたことを想像している。 ・ 自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。 ・ 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
3 学期	★論語 ・ 漢字一字 自分自身や社会を見つめる ・ 漢字を身につけよう⑤ ・ マンガ 情報の扱い方 ・ 見たいものだけ見る私たち ・ 情報の信頼性を確かめる ・ 言葉発見 4 慣用句・ことわざ・故事成語 ・ 漢字を身につけよう⑥ ★初恋 ・ 漢字のしくみ 四字熟語 ★故郷 ・ 読書活動 ブックトーク ・ 漢字を身につけよう⑦ ・ 私とは何か ・ 坊ちゃん ・ 漢字を身につけよう⑧	【知識・技能】 ・ 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどしている。 【思考・判断・表現】 ・ 「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで人間や社会などについて自分の意見をもち、学習課題に沿って文章をまとめようとしている。 【知識・技能】 ・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。 ・ 詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って考えを伝え合おうとしている。 【知識・技能】 ・ 文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 【思考・判断・表現】 ・ 自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 ・ 「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。 【主体的に学習に取り組む態度】

	・ ★名言集 中学校生活を振り返って ・学習を振り返ろう	・粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。 【知識・技能】 ・相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。 ・目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。 ・昔の時間の表し方や地名などを調べ、現代と比較したり、現代に受け継がれたりしていることを理解している。 ・アイヌ民族における地名に関する文章を読み、読書によって世界が広がることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章に表れているものの見方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 ・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現の仕方を工夫している。 ・自分の考えがわかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換えたりしている。 ・本文から根拠となる部分を挙げて、客観的に自分の考えを書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの課題に取り組もうとしている。
--	---	--

【書写】

学期	単元	評価の規準
1 学期	・書写で学ぶこと ・書写の学習の進め方 ・身の回りの文字の目的と工夫 ・手書きの文字の特徴	【知識・技能】 ・身の回りの文字には、目的に応じた工夫がされていることを理解している。 【知識・技能】 ・手書き文字の特徴を生かして、効果的に書く工夫を考えている。 【思考・判断・表現】 ・手書きの文字の特徴を理解している。
2 学期	・仕事の中の手書き文字 ・書き手の意図と表現 ・現在につながる文字の役割	【知識・技能】 ・文字は、書き手の意図に応じて効果的に書かれていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・意図に応じて効果的に書くための工夫を考えている。 【知識・技能】 ・歴史の中で文字が果たしてきた役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・これまで学習してきたことを踏まえて、文字の役割や現在とのつながりについて考えている。
3 学期	・書き初めをしよう【希望に輝く春】【生命を尊ぶ】【不屈の精神】【梅の花咲く里】 ・思いを文字で表そう ・古典をもとに ・書いて味わおう「奥の細道」 ・二十四節気と季節の挨拶 ・書くことを楽しむ ・日本の文字文化、世界の文字文化 ・様々な書式 ・行書の部分の形 ・常用漢字表 ・人名用漢字表	【知識・技能】 ・これまでの学習を理解して書き初めを書いている。 【思考・判断・表現】 ・自分の思いを表現するために、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・既習事項を生かして、進んで、思いを表す言葉を書こうとしている。

中学校 3年生 社会科 学習案内

1 目標

- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現代に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。
- ・個人の尊厳と人権の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・現代の社会的現象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の進め方

【使用教科書】 中学社会 「歴史的分野」（日本文教出版）、新しい社会 公民（東京書籍）

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・地理的分野、歴史的分野での学習内容と関連付けて学習し、自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、生活の向上と経済活動の関わり、現代社会の生活、国際関係について個人と社会との関わりを中心に理解を深めよう。
- ・様々な資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けよう。
- ・現代社会に見られる課題について、公正に判断したりする力、考えたことを説明したり、議論する力を身につけよう。
- ・歴史上の人物や、身近な地域の歴史上の人物に対して興味・関心を持ち、それぞれの人物が果たした役割や生き方などについて時代的背景と関連付けて考えよう。
- ・公民的分野では、習得した知識、概念や技能を活用して、社会的事象について考えたことを説明したり、自分の考えをまとめて書いたり、議論などをして考えを深めよう。

○家庭学習の例

- ・歴史的分野では、身近な地域の歴史を調べる活動で、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けよう。
- ・新聞やテレビの報道を見るなどして、日頃から社会の動きに関心を高めよう。

○定期テストへの取組の例

- ・授業で学習したことを、教科書・ノート・地図・資料等を活用して復習しよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・個人の尊厳と人権の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身につけているかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・現代の社会的現象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしているかどうかを見ます。

4 学習内容について

学期	単元	評価の規準
1学期 4月	近代の日本と世界 二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と戦後の世界	【知識・技能】 ・近代（後半）までの日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特徴をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。
5月	・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と日本 ・第二次世界大戦と日本	【思考・判断・表現】 ・経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関係などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、近代（後半）の社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代（後半）の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。
6月	現代の日本と世界 ・平和と民主化 ・冷戦下の世界と経済大国化する日本 ・グローバル化と日本の課題	【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近代（後半）の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・近代（後半）の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、近代（後半）の時代の特徴は何かを主体的に追究しようとしている。
	「歴史との対話」を未来に活かす	【知識・技能】 ・現代の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特徴をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・敗戦前後の社会の変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第二次世界大戦後の諸改革の特徴や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料から戦争中や敗戦直後、現在のようすを比較することを通して、現代の日本について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・現代の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、現代の時代の特徴は何かを主体的に追究しようとしている。
7月 8月	現代社会と私たち ・現代社会の特徴と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方	【思考・判断・表現】 ・これまでの学習をふまえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の諸課題に関する歴史をふり返る活動を通じて、現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしているとともに、公民的分野へのつながりを見いだそうとしている。
		【知識・技能】 ・現代社会の特徴や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身につけている。 ・現代社会を捉える見方・考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方があることに気づき、それらを理解している。 ・様々な写真や統計資料などから、現代社会の特徴や現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめている。 【思考・判断・表現】 ・現代社会の特徴や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の位置や空間的な広がり、推移や変化、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連付けて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方・考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。 ・現代社会の特徴や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。

2学期 9月	個人の尊重と日本国憲法 ・ 人権と日本国憲法 ・ 人権と共生社会 ・ これからの人権保障	・ 現代社会を捉える見方・考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。 【知識・技能】 ・ 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・ 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・ 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・ 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、「ちがいのちがい」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 現代の社会的事象を踏まえ、人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
10月 11月	現代の民主政治と社会 ・ 現代の民主政治 ・ 国の政治の仕組み ・ 地方自治と私たち	【知識・技能】 ・ 国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身に付けている。 ・ 多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。 ・ 国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての確に読み取り、文章や図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】 ・ 政治に関する様々な事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ・ 選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学種に取り組む態度】 ・ 国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 ・ 民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。
12月 3学期 1月	私たちの暮らしと経済 ・ 消費生活と市場経済 ・ 生産と労働 ・ 市場経済の仕組みと金融 ・ 財政と国民の福祉 ・ これからの経済と社会	【知識・技能】 ・ 身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。 ・ 市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・ 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・ 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。 ・ 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・ 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。

2 月 3 月	地球社会と私たち ・ 国際社会の仕組み ・ さまざまな国際問題 ・ これからの地球社会と日本 ■より良い社会を目指して	【思考・判断・表現】 ・ 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。 ・ 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察，構想したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，主体的に社会に関わろうとしている。その際，自らの学習を振り返りながら調整し，粘り強く取り組んでいる。 ・ 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，主体的に社会に関わろうとしている。その際，自らの学習を振り返りながら調整し，粘り強く取り組んでいる。 【知識・技能】 ・ 世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から，国家相互の主権の尊重と協調，各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。 ・ 地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や，その解決のための様々な取り組み，日本の国際貢献について理解し，その知識を身に付けている。 ・ 国際社会の現状や諸課題に関する様々な資料を収集し，学習に役立つ情報を適切に選択し，的確に読み取ったり，図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】 ・ 様々な統計資料や写真，新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見だし，対立と合意，効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，それらを解決する方法について，持続可能な社会の観点からの的確に表現している。 ・ 国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し，過程や結果を適切に表現したり，発表や討論などを通して考えを深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め，課題を意欲的に追究し，より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。 【知識・技能】 ・ 持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題として，環境・エネルギー，人権・平和，伝統・文化，防災・安全，情報・技術などがあることを理解し，それらの知識を身に付けている。 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について，これまでの社会科で学習した知識と関連付けて理解している。 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究するにあたって，様々な資料を適切に収集・選択し，活用している。 【思考・判断・表現】 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について，地理的分野や歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し，その結果をレポートに表現している。 ・ 持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題の解決について，社会参画の観点で捉えるとともに，対立と合意，効率と公正などの観点を踏まえて考察している
--------------------	--	--

中学校 3 年生 数学科 学習案内

1 目標

- ・数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- ・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習にいかそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】 未来へひろがる数学3 新興出版社啓林館

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・数の範囲が無理数まで拡大します。平方根の意味、 $\sqrt{2}$ などの無理数の大きさを確認するなどして理解し、具体的な生活場面で活用できるようにしよう。
- ・方程式、関数の学習については、さらに発展された二次方程式や $y = ax^2$ を学習します。既習内容を確認するとともにそれらを活用して考えたり調べたりしてみよう。また、既習の関数では捉えられない関数関係があることを学習することによって、関数の概念の広がりを実感しよう。
- ・古代ギリシャの数学者ピタゴラスの定理ともいわれる「三平方の定理」を学びます。定理にまつわる背景等も調べ、直角三角形だからこそ成り立つ関係の美しさや数学のおもしろさを実感しよう。
- ・「標本調査」の必要性や意味を理解するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現したり、母集団の傾向を推定し判断したりする力を養おう。
- ・わからない問題はそのままにせず、授業中や面談の中で質問し、理解できるようにしよう。
- ・ノートへの記述は、黒板の記録や自分の解答だけではなく、自分の考え方とは違う他の人の考え方も記述し、工夫しよう。
- ・日常生活や社会の事象で数学を利用したり、数学が活用されている場面を発見したりしてみよう。そして、数学的な表現を用いて根拠を明らかにし、筋道を立てて説明し、お互いに伝え合おう。

○家庭学習の例

- ・問題を解く際には、必ず途中の計算の過程を書く習慣をつけよう。
- ・問題を解いたらすぐに、答え合わせをして、間違った問題の見直しを必ずしよう。
- ・授業で記述したノートやレポート、小テストなどで、自分の学習内容の理解度を分析し、その後の学習方法を考えよう。
- ・教科書の「自分から学ぼう編」やQRコード、問題集等を使って、復習するとともに、学習をさらに深めていこう。
- ・すでに学習した数学の事象を基にして、学習内容を関連付けたり、発展させたりしてみよう。

○定期テストへの取組の例

- ・数学は積み重ねの教科なので、授業で学習したことを何度も復習したり、多くの問題に取り組んだりしよう。
- ・苦手な問題や間違えやすかった問題を中心に、もう一度解きなおそう。
- ・テスト返却後は、間違えた問題やわからなかった問題を中心に、必ずテスト問題を見直し、次につなげよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いているかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習にいかそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を見ます。

4 学習内容について

学期	単元	評価の規準
1 学期	○式の展開と因数分解 ・式の展開と因数分解 ・式の計算の利用 ○平方根 ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用 ○二次方程式 ・二次方程式 ・二次方程式の利用	【知識・技能】 ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ・簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x-b) = x^2 + (a+b)x + b^2$ ・因数及び因数分解の意味を理解している。 ・数量及び数量の関係を帰納や類推によって捉え、それを、文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解の必要性和意味を考えようとしている。 ・多項式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 【知識・技能】 ・数の平方根の必要性和意味を理解している。 ・数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 ・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ・有理数、無理数、近似値や誤差、有効数字の意味を理解している。 ・有効数字をはっきりさせるために、ある数を $a \times 10^n$ の形に表すことを理解している。 ・根号を含む式の乗法、除法の計算の方法を理解し、計算をすることができる。 ・根号を含む式の和と差や、根号を含む式の積や商の計算の方法を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 ・数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 【知識・技能】 ・二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・x の係数が偶数である二次方程式を平方の形に変形して解くことができる。 ・二次方程式を因数分解して解くことができる。 ・解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、二次方程式をつくることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・二次方程式を具体的な場面で活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・二次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
2 学期	○関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ とグラフ ・関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・いろいろな事象と関数の利用	【知識・技能】 ・関数 $y = ax^2$ について理解し、グラフに表すことができる。 ・放物線、放物線の軸、放物線の頂点の意味を理解している。 ・事象の中には関数 $y = ax^2$ として捉えられるものがあることを知っている。 ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・関数 $y = ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・関数 $y = ax^2$ について、x の変域に制限があるときの y の変域を求める方法を、グラフと関連づけて考察し表現することができる。 ・関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。

3 学期	○図形と相似 ・ 図形と相似 ・ 平行線と線分の比 ・ 相似な図形の計量 ・ 相似の利用 ○円の性質 ・ 円周角と中心角 ・ 円の性質の利用 ○三平方の定理 ・ 直角三角形の 3 辺の関係 ・ 三平方の定理の利用 ○標本調査とデータの活用 ・ 標本調査	・ 関数 $y = ax^2$ のグラフや既習の関数と関連づけて、関数 $y = ax^2$ の特徴を考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 関数 $y = ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。 ・ 関数 $y = ax^2$ について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・ 関数 $y = ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 【知識・技能】 ・ 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ・ 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。 ・ ∞ の記号を用いて図形の間接を表したり読み取ったりすることができる。 ・ 三角形の相似条件を用いた証明の方法について理解している。 ・ 中点連結定理を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 ・ 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 相似な図形の性質の必要性和意味を考えようとしている。 ・ 図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・ 相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 【知識・技能】 ・ 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・ 円周角の定理の逆の意味を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・ 円周角と中心角の間接を見だすことができる。 ・ 円周角と中心角の間接を具体的な場面で活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 円周角と中心角の間接の必要性和意味を考えようとしている。 ・ 円周角と中心角の間接について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・ 円周角と中心角の間接を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 【知識・技能】 ・ 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・ 三平方の定理を用いて、直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。 ・ 三平方の定理の逆を用いて、ある三角形が直角三角形であるかどうかを見分けることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・ 直角三角形の 3 辺の長さの間に成り立つ関係に着目し、三平方の定理を見いだすことができる。 ・ 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 三平方の定理の必要性和意味を考えようとしている。 ・ 三平方の定理について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・ 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 【知識・技能】 ・ 標本調査や全数調査の必要性和意味を理解している。 ・ コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・ 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ・ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ・ 標本調査について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・ 標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
------	---	--

中学校 3年生 理科 学習案内

1 目標

(第1分野)

- ・物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
- ・物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにすることができるようにする。

(第2分野)

- ・生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理科するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
- ・生命や地球に関する事物・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにすることができるようにする。

2 学習の進め方

【使用教科書】 未来へひろがるサイエンス3 (啓林館)

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・「生命の連続性」では、細胞分裂の観察を通して、生命の連続性が精妙な仕組みで保たれていることを理解しよう。
- ・「宇宙を観る」では、身近な天体観測を行い、天体の運動や特徴などを考察し、天体の日周運動、年周運動の観測記録などを地球の自転や公転と関連付けてみる見方や考え方を養おう。惑星の見え方を太陽系の構造や惑星の公転と関連付けてみる見方や考え方を養おう。また、恒星と惑星の特徴を理解しよう。
- ・「運動とエネルギー」では、物体に働く力と運動や、仕事と力学的エネルギーを関連付けてとらえ、日常生活や社会と関連させながら運動やエネルギーについての初歩的な見方や考え方を養おう。
- ・「化学変化とイオン」では、水溶液の電気分解や電池、酸・アルカリの中和などの観察、実験を行い、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解し、イオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方を養おう。
- ・「自然と人間」では、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めたり、自然界での生物相互の関係や自然界のつり合いについて考えたりして、自然と人間との関わりを認識することで自然を総合的に見るようにしよう。

○家庭学習の例

- ・学習内容を日常生活や社会と関連付けながら、科学の有用性を考え、総合的な見方や考え方ができるようにしよう。
- ・学校で学習した内容について、系統性を考えて復習するとともに、自分の考えを表現できるようにしよう。

○定期テストへの取組の例

- ・教科書やノートで基礎的、基本的な知識や、観察、実験の目的や方法、結果等について確認しよう。
- ・学習内容を身近な事物・現象と関連付けながら、その原理や仕組みについて確認しよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養えたかどうかを見ます。

4 学習内容について

学期	単元	評価の規準
1 学期	2 年生の未履修部分 ○ [地球] 地球の大気と天気の変化 ・ 天気の変化と大気の動き ・ 大気の動きと日本の四季	【知識・技能】 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、前線の通過と天気の変化、日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 学期	○ [生命] 生命の連続性 ・ 生物のふえ方と成長 ・ 遺伝の規則性と遺伝子 ・ 生物の種類の多様性と進化 ○ [物質] 化学変化とイオン ・ 水溶液とイオン ・ 電池とイオン ・ 酸・アルカリと塩 ○ [エネルギー] 運動とエネルギー ・ 力の合成と分解 ・ 物体の運動 ・ 仕事とエネルギー ・ 多様なエネルギーとその移り変わり ・ エネルギー資源とその利用	【知識・技能】 ・ 生物の成長と殖え方・遺伝の規則性と遺伝子・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と細胞分裂、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ 生物の成長と殖え方・遺伝の規則性と遺伝子・生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 生物の成長とふえ方・遺伝の規則性と遺伝子・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【知識・技能】 ・ 化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子の成り立ちとイオン・金属イオン、化学変化と電池・酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ 水溶液とイオン・化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 水溶液とイオン・化学変化と電池に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【知識・技能】 ・ 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、仕事とエネルギー、運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、運動の速さと向き、力と運動、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存、さまざまなエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。また、日常生活や社会と関連づけながら、エネルギー資源などの基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、仕事とエネルギー、運動の規則性、さまざまなエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。また、日常生活や社会で使われているエネルギー資源について、実験結果やデータを分析して解釈しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、仕事とエネルギー、さまざまなエネルギー、エネルギー資源に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 学期	○【地球】 宇宙を観る ・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方 ○【環境】 自然と人間 ・自然界のつり合い ・さまざまな物質の利用と人間 ・科学技術の発展 ・人間と環境 ・持続可能な社会をめざして	【知識・技能】 ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽の様子、惑星と恒星、日周運動と自転、年周運動と公転、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・太陽の様子、惑星と恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽の様子、惑星と恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・太陽の様子、惑星と恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【知識・技能】 ・日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験、資料調査や記録などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・生物と環境について、生物どうしの関係や、微生物のはたらきなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて科学的に探究している。 ・日常生活や社会で使われている物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術のあり方について科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。 ・科学技術の発展について、見通しをもって情報収集や資料調査などを行い、その結果を分析して解釈し、科学技術の発展の方向性について根拠に基づいて予測しているなど、科学的に探究している。 ・自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害について、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる調査などを行い、自然環境の保全や自然と人間との関わり方について科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 ・自然環境の保全と科学技術の利用について、調査活動や討論などを行い、持続可能な社会の構築に向けて、科学的な根拠に基づいて多面的・総合的に考察して判断し、行動しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物と環境、さまざまな物質、科学技術の発展、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、持続可能な社会の構築に向けて、科学的に探究しようとしている。
--------------------	---	---

中学校 3年生 音楽科 学習案内

1 目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 学習の進め方

【使用教科書】 中学生の音楽 2・3下（教育芸術社） 中学生の器楽 （教育芸術社）

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・歌唱の活動では、恥ずかしがらずに堂々と表情豊かに表現しよう。曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けよう。
- ・創作の活動では、音のつながり方の特徴及び、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を表したいイメージと関わらせて理解しよう。
- ・鑑賞をすることが豊かな表現につながり、表現することが感性を磨いていく。曲や演奏に対する評価とその根拠・生活や社会における音楽の意味や役割・音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴こう。音楽の特徴とその背景になる文化・歴史や他の芸術と関連づけたり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を感じ取ったりしよう。

○家庭学習の例

- ・家庭学習は特に必要ありません。「もっとうまくなりたい」と思う人は、楽譜、教科書等を持ち帰り、家でも歌ってみよう。
- ・楽譜に出てくる速度標語、強弱記号などをチェックし、読み方や意味などを確認しておこう。
- ・音楽を生活の中に取り入れ、明るく豊かな生活を送ることを目指そう。
- ・発展的な学習として、どんなジャンルの音楽にも興味を持ち、鑑賞してみよう。また、演奏会など、本物の音楽に触れる機会を持とう。

○定期テストへの取組の例

- ・歌唱曲では教科書や楽譜を見直し、どのように表現したか思い出してみよう。
- ・鑑賞曲では、作曲者や楽曲について復習しておこう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか・ 何ができるか)	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けたかを見ます。 (例) ※定期テスト、ワークシート ※授業中の様子 ※実技テスト(音程・リズムを正確に演奏することができるか)
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようになったかを見ます。 (例) ※定期テスト、ワークシート ※授業中の様子 ※実技テスト(強弱、表情など表現豊かに演奏することができるか)
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を見ます。 (例) ※自己評価表への取り組み ※授業中の様子(積極的に自分の考えや気づいたことなどを交流しているか)

4 学習内容について

学期	単元	評価の規準
1 学期	○日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう ・花(共通教材) ○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう ・ブルタバ	【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ・リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学期	単元	評価の規準
2 学期	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ・学年合唱曲 ・クラス合唱曲	【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	○音楽の構成やその特徴を理解して、オーケストラの魅力を味わおう ・ボレロ	【知識・技能】 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3 学期	○ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・日本のポピュラー音楽 ・ポピュラー音楽のジャンル ・ルールを守って音楽を楽しもう！	【知識・技能】 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、ほかの芸術との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、ほかの芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ・卒業生の歌	【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

中学校 3年生 美術科 学習案内

1 目標

- ・対象や事柄を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学習の進め方

- 【使用教科書】 光村図書 美術 2・3
 【副教材】 感じる表す美術(浜島書店)
 【上記以外】 絵の具セット、色鉛筆、クロッキー帳

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・材料や道具の基本的な用途を理解し、適切に使用しよう。
- ・学んだことをもとに発想や構想を工夫しよう。
- ・発想や構想をもとに作品として完成させ、自分なりに表現することに挑戦しよう。
- ・自他の作品のよさを理解しようと努力しよう。

○家庭学習の例

- ・必要に応じて、制作のための資料を積極的に収集しよう。
- ・長期休業中の絵画やポスターなどの課題をしよう。

○定期テストへの取組の例

- ・資料を参考にして、スケッチやデッサンなど、描写技法の基礎技術を高めるトレーニングをしよう。
- ・資料を参考にして、美術の基礎知識や美術文化・美術史などの知識の充実を図ろう。

3 評価について

観 点		評価の場面・方法
知識・技能 (何を理解しているか・何ができるか)	○形や色彩などによる表現の技能を身に付け、得た知識を用いて、意図に応じて創意工夫し美しく表現しようとしている。 ○材料や用具の特性などから制作の見通しをもって表現しようとしている。	○技能の知識・理解 ○作品の表現力 ○作品の完成度と美術の技能 ○定期テスト
思考・判断力・表現力 (理解していること・できることをどう使うか)	○対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことを基に主題を生み出すことができる。 ○主題などを基に豊かに発想し創造的な構想を工夫しようとしている。 ○美術作品の鑑賞活動を通して造形的なよさや美しさ、作者の心情と意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じとり、また美術文化に対する関心を高めることができる。 ○感じ取ったよさや美しさを文章に表すことによって対象の見方や感じ方を伝えることができる。	○アイデアスケッチ ○作品の発想、構想力 ○作品の知識・理解 ○鑑賞文による表現力

主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する)	○対象や主題について関心をもち、美術の創作活動の喜びを味わい美術を愛好する心情と態度をもって意欲的に授業に取り組もうとしている。 ○学習した内容を進んで活用しようとしている。	○授業中の発言、発表の様子 ○作品作りに取り組む姿勢 ○鑑賞、課題の提出状況
---	---	---

4 学習内容について

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	評 価 観 点
1 学 期	4	○デッサンの基礎 模写（鉛筆デッサン / シューズ）	【知識・技能】 ・材料の特性を理解して、対象物の形や明暗などを、正確に描写することができる。 【思考・判断力・表現力】 ・観察したことを、目的に応じて描き方や材料を工夫して描写することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に鉛筆の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
	5		
	・	○アクリル画の制作 模写（アクリル画）	【知識・技能】 ・形や色、余白や遠近感による構成や構図などが感情にもたらし効果や、造形的な特徴などをもとに、絵のテーマを全体のイメージで捉えることについて理解している。 ・対象物の特徴を捉え、自分のあらわしたい気持ちや、描きたいイメージを、材料や用具の特性などから、制作の見通しを立て、意図に応じて工夫してあらわしている。 【思考・判断力・表現力】 ・自分が心ひかれる対象物の特徴を見つけ、そのときの気持ちなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にアクリル絵の具の特性を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
	6		
	・		
2 学 期	7	○鑑賞 名画から学ぶ ・北斎からゴッホへ	【知識・技能】 ・形や色、材料、光などが感情にもたらし効果や、作品の造形的な特徴をもとに、日本の美術が西洋の美術に与えた影響や、日本や西洋の美術文化を全体のイメージで捉えることを理解している。 【思考・判断力・表現力】 ・日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、日本や西洋の美術作品について、よさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	8	○思いを伝える（夏季休業中の課題） （ポスター）	
	9	○アクリル画の制作 模写（アクリル画）	【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に学習した描き方や材料の特性を工夫いかして、多くの人にメッセージが伝わるよ

			うに工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。
	・		【知識・技能】 ・形や色、余白や遠近感による構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、絵のテーマを全体のイメージで捉えることについて理解している。 ・対象物の特徴を捉え、自分のあらわしたい気持ちや、描きたいイメージを、材料や用具の特性などから、制作の見通しを立て、意図に応じて工夫してあらわしている。
10			
11	○鑑賞 名画から学ぶ ・ゲルニカ、明日への願い		【思考・判断・表現】 ・自分が心ひかれる対象物の特徴を見つけ、そのときの気持ちなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にアクリル絵の具の特性を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
	・		【知識・技能】 ・形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、ピカソがゲルニカに託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ゲルニカや、その他のピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品がつくられた背景などをもとに、作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
		○絵文字の制作 (ポスターカラー)	
12		○絵文字の制作 (ポスターカラー)	【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品がつくられた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・文字の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解している。 ・ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもってあらわしている。 【思考・判断・表現】 ・伝える相手や伝えたい内容をもとに主題を生み出し、美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。

3 学 期	1	○絵文字の制作 (ポスターカラー)	【知識・技能】 ・文字の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解している。 ・ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもってあらわしている。 【思考・判断・表現】 ・伝える相手や伝えたい内容をもとに主題を生み出し、美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。
	・		
	2	○デッサンの基礎 模写（鉛筆デッサン / 目）	【知識・技能】 ・材料の特性を理解して、対象物の形や明暗などを、正確に描写することができる。 【思考・判断力・表現力】 ・観察したことを、目的に応じて描き方や材料を工夫して描写することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に鉛筆の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
	・		
	3		

中学校 3年生 保健体育科 学習案内

1 目標

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- ・運動について自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなど、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。
- ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】 「中学保健体育」(学研教育みらい)

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・これまで身につけてきた各運動領域に関する知識や技能を関連させながら高めよう。
- ・運動やスポーツに関する科学的知識と、各運動領域の学習と関連付け、生涯にわたって運動やスポーツに取り組む基礎を身につけよう。
- ・自己や仲間の課題を見つけて、その解決策を考え、技能の向上につなげよう。
- ・感染症の予防や健康を守る社会の取り組みについて、学習した知識や情報を基に自分や他の人の生活に応用したり、病気にかかる危険性を下げて健康を保持増進する方法を理解しよう。
- ・環境が健康に及ぼす影響や健康のために環境をどのように整え保全していけるかを考えよう。
- ・準備体操や係の仕事など自ら進んで取り組もう。
- ・既習の技能を生かし、自己の能力に応じた課題を設定し、課題解決に向けた取り組みを工夫しながら、積極的に取り組もう。
- ・全員で協力し、ルールやマナーを守り、お互いに認め合い、教え合い、励まし合いながら高め合う活動にしよう。

○家庭学習の例

- ・健康・安全に留意し自己の健康観察をするとともに、体づくり運動などを取り入れ、体力を高めよう。

○定期テストへの取組の例

- ・体育理論、各競技の特性やルール、保健分野の学習内容を復習し、運動や健康・安全についての理解を深めよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけたかどうかを見ます。 ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・運動について自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養えたかどうかを見ます。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなど、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養えたかどうかを見ます。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養えたかどうかを見ます。

4 学習内容について

学期	単元	評価の規準
1 学 期	○体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・集団行動 ・ラジオ体操	【知識・技能】 - 運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 - 仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 - 実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 - 自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献しようとしている。 - 健康・安全を確保している。
	○体育理論	【知識・技能】 - 文化としてのスポーツの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 - 文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断したりするとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。
	○ダンス 現代的なリズムのダンス	【知識・技能】 - 簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊ることができる。 - 軽快なロックでは、全身でビートに合わせて弾んだり、ビートのきいたヒップホップでは膝の上下に合わせて腕を動かしたりストップするようにしたりして踊ることができる。 - リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。 - リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊ることができる。 【思考・判断・表現】 - 表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。 - よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 - 作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 - 仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 - 健康・安全を確保している。
	○陸上競技（選択） ・走り高跳び ・走り幅跳び	【知識・技能】 - リズムカルな助走から真上に伸び上がるように踏み切り、はさみ跳びや背面跳びなどの空間動作で跳ぶことができる。 - 背面跳びでは踏み切り前の3～5歩で弧を描くように走り、体を内側に倒す姿勢を取るようにして踏み切りに移ることができる。 - 踏み切り前3～4歩からリズムアップして踏み切りに移ることができる。 - 踏み切りでは上体を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ脚を素早く引き上げることができる。 - かがみ跳びやそり跳びなどの空間動作からの流れの中で、脚を前に投げ出す着地動作をとることができる。 【思考・判断・表現】 - 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 - 選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。

2 学 期	○水泳の事故防止に関する心得 ○器械運動 ・ 跳び箱運動 ・ マット運動 ○保健 ・ 健康な生活と疾病の予防 ○球技（ネット型） ・ バレーボール	・ 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・ 健康・安全を確保している。 【知識・技能】 ・ 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・ 水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。 【知識・技能】 ・ 運動やスポーツの基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。 ・ 着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・ 学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。 【思考・判断・表現】 ・ 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・ 仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・ 健康・安全に留意し、積極的に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・ 基本的な技の動きを滑らかにして回ることができる。 ・ 基本的な技の動きを滑らかにして静止することができる。 ・ 開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや手の着き方などの条件を変えて回ることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・ 自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・ 健康・安全に留意し、積極的に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・ 健康な生活と疾病の予防について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・ ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 ・ ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 ・ 連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができる。 【思考・判断・表現】 ・ 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・ よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 ・ チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・ 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。
-------------	--	---

3 学 期	○球技（ベースボール型） ・ソフトボール ○保健 ・健康と環境 ○陸上競技 ・長距離走 ○球技（ゴール型） ・バスケットボール	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ バレーボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・ 作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・ 健康・安全を確保している。 【知識・技能】 ・ 大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。 ・ ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・ 練習の場面で、よい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・ 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・ 健康・安全に留意し、積極的に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・ 健康と環境について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・ リズミカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・ 呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ・ 自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・ 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・ 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・ 健康・安全を確保している。 【知識・技能】 ・ ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ・ 味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。 ・ パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 ・ ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・ よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 ・ チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・ 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。
-------------	---	--

	○球技（ゴール型） ・サッカー	【主体的に学習に取り組む態度】 ・バスケットボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。 【知識・技能】 ・パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。 ・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。 ・マークされていない味方にパスを出すことができる。 【思考・判断・表現】 ・自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・練習やゲームの場面で、よい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意し、積極的に取り組もうとしている。
--	-------------------------------	---

中学校 3年生 技術・家庭科（技術分野） 学習案内

1 目標

- ・生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギーの変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】 新しい技術・家庭「技術分野」（東京書籍）

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・エネルギー変換の技術について理解し、自分の生活の中でみられるエネルギー変換を利用した機器について観察したり調べたりしよう。
- ・電気機器におけるエネルギー変換機器の基本的な仕組みを知り、共通部品の利点や保守点検の必要性を理解しよう。
- ・製作を通して、作業手順、部品の名前や工具の名前、はんだづけの技術、事故防止のポイントなど基礎的な知識を身に付けよう。
- ・エネルギー変換に関する技術が生活や産業に果たしている役割について理解するとともに、環境や安全性などさまざまな面から適切に評価し、活用について考えよう。再生可能エネルギーなどの先進技術について知り、持続可能な社会について考えよう。
- ・問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考えよう。

○家庭学習の例

- ・生活の中で使われている情報機器やコンピュータによって制御されている電気製品に興味・関心をもち、それらの最新技術などの情報を積極的に集めよう。
- ・コンピュータなど身のまわりにある情報機器に触れる機会を活用し、情報処理の技術を身に付けよう。

○定期テストへの取組の例

- ・制作の過程や学んだ技能を復習・練習し、技術の向上を図ろう。
- ・教科書やノート、製作カード等を復習し、知識の定着を図ろう。
- ・制作を通して工夫した点や改善点等を説明できるようにしよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めているかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、作図等に表現し、試作等を通じて、具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしているかを見ます。

4 学習内容について

学期	単元	評価の規準
1学期	○エネルギー変換の技術による問題解決 ・エネルギー変換の技術とは何だろう ・発電の仕組みと特徴 ・電気を供給する仕組み ・電気回路について考えよう ・電気機器を安全に使用するための技術 ・運動エネルギーへの変換と利用 ・回転運動を伝える仕組み ・機械が動く仕組み ・機械の共通部品と保守点検の大切さ ・エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	【知識・技能】 ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。 ・電気回路の仕組みについて理解している。 ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 ・電気機器の安全な使い方について理解している。 ・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。 ・運動の種類とエネルギー変換について理解している。 ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解している。 ・リンク機構やカム機構について理解している。 ・熱や水、空気などの流体を用いたエネルギー変換の特性について理解している。 ・機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・送電・配電の技術の工夫について考えている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。
2学期	○エネルギー変換の技術による問題解決 ・問題を発見し、課題を設定しよう ・電気回路を設計・製作しよう ・機構モデルを設計・製作しよう ・問題解決の評価、改善・修正	【知識・技能】 ・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 ・構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
3学期	○社会の発展とエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術の最適化 ・これからのエネルギー変換の技術	【知識・技能】 ・エネルギー変換の技術の概念について理解している。 【思考・判断・表現】 ・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。 ・これからのエネルギー変換の技術について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。

中学校 3年生 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

1 目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】新しい技術・家庭（家庭分野）（東京書籍）

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・「幼児の生活と家族」では、幼児の発達と生活、遊びや家族の役割を学び、幼児と触れ合う活動を通して、幼児との関わり方を工夫しよう。
- ・「これからの家族と地域」では、家族や高齢者など、地域の人々とよりよく関わり、協働する方法を考えて工夫しよう。
- ・「生活の実践と課題」では、学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践し、実践したことを発表しよう。
- ・必要な準備物をそろえ、実習に備えよう。
- ・保育所や幼稚園での実習では、関係者からも学ぶという姿勢で参加し、あいさつやお礼などの礼儀にも注意しよう。
- ・実習では怪我をしったり事故が起きたりしないよう、安全に気を配ろう。

○家庭学習の例

- ・身近な幼児を観察したり地域にある幼児のための施設を訪問したりして、学んだことを生かす機会を作ろう。
- ・よりよい家庭生活・地域とのかかわりを実現するためのアイデアや実践例をレポート等にまとめよう。
- ・よりよい家庭生活や暮らしやすい地域にするために家族や地域の人々の思いに触れる機会を持とう。

○定期テストへの取組の例

- ・技能の定着を図るために、計画的・継続的な練習を重ねよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力が養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が養われたかどうかを見ます。

4 学習内容について

学期	単元	評価の規準
一学期	■家族・家庭と地域 ○幼児の生活と家族 ・幼い頃の振り返り ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の1日の生活 ・支えられて身に付ける生活習慣 ・幼児の生活と遊び ・生活の課題と実践 ・幼児との関わり方の工夫 ・幼児との関わりを生活に生かす ・子どもにとっての家族	【知識・理解】 ・幼い頃を振り返り、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児の体の発達の特徴について理解している。 ・幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児との関わり方について理解している。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・家族の立場から幼児との関わり方について考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・幼児の観察について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自分や家族、幼児の衣生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について、振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。(態) ・家族の立場からの幼児との関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
二学期	○これからの家族と地域 ・家族との関わり ・家族や地域の高齢者との関わり ・地域の幼児におもちゃを作ってプレゼントしよう ・学習を終えて	【知識・理解】 ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 ・地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・高齢者との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・地域の人々と関わり、ようじがよろこぶおもちゃづくりの課題に主体的に取り組む、作品完成に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家庭分野で学習したことを作品づくりに生かしている。
三学期		

中学校 3年生 英語科 学習案内

1 目標

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】 BLUE SKY 3

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・2年生での学習を基にして、英語を聞く、話す、読む、書くことに関心を持ち、ペアワーク・グループワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しよう。
- ・学習した英語をよく聞いたり読んだりして、話し手や書き手の表現している内容を理解する力を身に付けよう。
- ・学習した英語を使って話したり書いたりして、自分の考えなどを表現する力を身に付けよう。
- ・英語の表現方法や言葉のルールを理解するとともに、外国語を使用する人々の文化を理解する力を身に付けよう。
- ・大きな声で発音し、間違いを恐れずどんどん発表し、先生の話や他の人の発表を真剣に聞こう。
- ・誰とでもペアワーク・グループワークができるように協力し合い、楽しい雰囲気での学習を進めよう。
- ・ALTに積極的に英語で話しかけよう。

○家庭学習の例

- ・予習として、次に習う新出単語の意味を調べ、本文をノートに書き写そう。
- ・復習として、習った教科書の本文や基本本文を何度も声に出して読んだり書いたりして、内容を確認しよう。
- ・宿題やワークに積極的に取り組み、授業の復習をしよう。
- ・予習復習では、1・2年生での学習を常に振り返りながら進めよう。
- ・普段から英語の歌や映画の他、スポーツや料理など自分の興味に応じて、外国での様子を調べてみよう。

○定期テストへの取組の例

- ・教科書を繰り返し音読し、単語・基本本文・本文を覚え、語彙を増やそう。
- ・英語の表現方法や言葉のルールを復習し、ワーク・プリント・ノートを見直そう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおける活用できる技能が身に付いたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養えたかどうかを見ます。

4 学習内容について（★の単元のみ評価の観点があります。）

（[P1]=Part 1, [P2]=Part 2, [P3]=Part 3, [RT]=Read & Think, [EY]=Express Yourself）

学期	単元	評価の観点
1 学期	★Unit 1 Trick Your Eyes with Art ★Unit 2 Passing Down Memories	【知識・技能】 （5 領域共通）（聞）・（読）・（話【や】）・（話【発】）・（書） ・現在完了形（完了・経験）の特徴やきまりを理解している。[P1-3] （聞くこと） ・現在完了形の特徴やきまりの理解を基に、電話での会話や日常会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] （読むこと） ・現在完了形（完了・経験）の特徴やきまりの理解を基に、3-D アート展に出かけた際の会話文や、帰宅時の Hall 先生との会話文を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3] （話すこと【やり取り】） ・現時点で行為が完了しているかどうかについて、現在完了形（完了）の文を用いて伝え合う技能を身に付けている。[P2 S] ・現在までに経験したことがあるかどうかについて、現在完了形（経験）の文を用いて伝え合う技能を身に付けている。[P3 S] （話すこと【発表】） ・修学旅行の準備で、すでに終えたこととまだ終えていないことについて、現在完了形（完了）の文を用いて話す技能を身に付けている。 [P1S] （書くこと） ・Speak で尋ねたり話したりしたことについて、現在完了形を用いて正確に書く技能を身に付けている。[P1-3 W] 【思考・判断・表現】 （聞くこと） ・自分が好きな美術作品を紹介する際の参考とするために、Emi の好きな美術作品についての発表を聞いて、絵の紹介の要点を捉えている。[T&S] （読むこと） ・だまし絵の歴史を調べるために、6 点のだまし絵を見ながらそれぞれの絵に関する短い説明文を読み、いつの時代に、どの国で、どのような特徴のあるだまし絵が描かれたかなどの、要点を捉えている。[R&T] （話すこと【発表】） ・自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなところなどについて、簡単な語句や文を用いて発表している。[T&S] （書くこと） ・自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなところなどについて、簡単な語句や文を用いてメモを書いている。[T&S] 【主体的に学習に取り組む態度】 （聞くこと） ・自分が好きな美術作品を紹介する際の参考とするために、Emi 好きな美術作品についての発表を聞いて、絵の紹介の要点を捉えようとしている。[T&S] （読むこと） ・だまし絵の歴史を調べるために、6 つのだまし絵を見ながらそれぞれの絵に関する短い説明文を読み、いつの時代に、どの国で、どのような特徴のあるだまし絵が描かれたかなどの、要点を捉えようとしている。[R&T] （話すこと【発表】） ・自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなところなどについて、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。[T&S] （書くこと） ・自分の好きな美術作品を知ってもらうために、作品のタイトル、作者の名前、創られた時期、作品の説明、好きなところなどについて、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。[T&S] 【知識・技能】 （5 領域共通）（聞）・（読）・（話【や】）・（話【発】）・（書） ・現在完了形（継続）や現在完了進行形の特徴やきまりを理解している。[P1-3] （聞くこと） ・現在完了形（継続）や現在完了進行形の特徴やきまりの理解を基に、交流会での自己紹介やボランティアガイドと Kiri の会話、Kiri と父親との日常会話を聞

	Focus on Form ① 現在完了形／現在完了進行形	いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] (読むこと) ・現在完了形(継続)や現在完了進行形の特徴やきまりの理解を基に、ガイドの説明文やガイドと Kiri の会話文を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3] (話すこと [やり取り]) ・ある状態や動作がどれくらいの期間続いているかについて、現在完了形(継続)や現在完了進行形を含む文を用いて、伝え合う技能を身に付けている。[P1-3 S] (話すこと [発表]) ・自分がある時期からずっとしたいと思っていることを、現在完了形(継続)を含む文を用いて、話す技能を身に付けている。[P1 S (2)] (書くこと) ・最近ハマっていることについて、現在完了形(継続)を含む文を用いて、書く技能を身に付けている。[P1-EY] ・自分や友達が今までずっと続けてやっていることを、現在完了進行形を含む文を用いて、書く技能を身に付けている。[P3 W] 【思考・判断・表現】 (聞くこと) ・自分の学校の修学旅行について紹介する際の参考とするために、Kei の返信ビデオメッセージを聞いて、修学旅行の紹介の要点を捉えている。[T&W] (読むこと) ・被爆体験の語り部とその伝承者の活動や思いを理解するために、岡田さんと山岡さんの体験や活動について書かれた文章の概要を捉えている。[R&T] (書くこと) ・自分の学校の修学旅行を知ってもらうために、修学旅行の行先や日程、事前学習などについて、簡単な語句や文を用いて書いている。[T&W] 【主体的に学習に取り組む態度】 (聞くこと) ・自分の学校の修学旅行について紹介する際の参考とするために、Kei の返信ビデオメッセージを聞いて、修学旅行の紹介の要点を捉えようとしている。[T&W] (読むこと) ・被爆体験の語り部とその伝承者の活動や思いを理解するために、岡田さんと山岡さんの体験や活動について書かれた文章の概要を捉えようとしている。[R&T] (書くこと) ・自分の学校の修学旅行を知ってもらうために、修学旅行の行先や日程、事前学習などについて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。[T&W] 【知識・技能】 (話すこと [やり取り]) ・現在完了形や現在完了進行形の肯定文、否定文、疑問文、応答文の特徴やきまりを理解している。 ・最近したことがあること、大切に使っているものなどについて、現在完了形や現在完了進行形の肯定文、否定文、疑問文、応答文を用いて尋ねたり、それに答えたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (話すこと [やり取り]) ・ペアの相手について知るために、自分が最近したことがあることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・ペアの相手について知るために、大切に使っているものについて、手に入れたいきさつや使っている期間などを簡単な語句や文を用いて、即興で尋ねたり答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (話すこと [やり取り]) ・ペアの相手について知るために、自分が最近したことがあることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 ・ペアの相手について知るために、大切に使っているものについて、手に入れたいきさつや使っている期間などを簡単な語句や文を用いて、即興で尋ねたり答えたりしようとしている。
--	---	--

		にして決め、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (話すこと [やり取り]) ・ 買い物のトラブルの場面を想定して、購入品やそのトラブルを Tool Box を参考にして決め、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じようとしている。 【知識・技能】 (2 領域共通) (聞)・(話 [発]) ・ 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きを理解している。 (聞くこと) ・ 聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きの理解を基に、サバイバルシーンで重要なものについて話しているラジオ番組を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 (話すこと [発表]) ・ このラジオ番組を聞いていなかった友達に、サバイバルシーンで生き残るために重要な 5 つのアイテムのランキングやその理由を、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (聞くこと) ・ サバイバルシーンで重要なものについてのラジオ番組を聞いて、Emma の考えやエキスパートの答え、各アイテムがその順位になった理由などの必要な情報を捉えている。 (話すこと [発表]) ・ ラジオ番組を聞いていなかった友達に、サバイバルシーンで生き残るために重要な 5 つのアイテムのランキングやその理由について、簡単な語句や文を用いて話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (聞くこと) ・ サバイバルシーンで重要なものについてのラジオ番組を聞いて、Emma の考えやエキスパートの答え、各アイテムがその順位になった理由などの必要な情報を捉えようとしている。 (話すこと [発表]) ・ ラジオ番組を聞いていなかった友達に、サバイバルシーンで生き残るために重要な 5 つのアイテムのランキングやその理由について、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。 【知識・技能】 (書くこと) ・ S+V, S+V+C, S+V+O, S+V+O+O, S+V+O+C の 5 つの文構造の特徴やきまりを理解している。 ・ 最近うれしかったことについて、S+V, S+V+C, S+V+O, S+V+O+O, S+V+O+C の 5 つの文構造を用いて、正確に文を書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (書くこと) ・ 最近うれしかったことについて、読む人にわかりやすいように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (書くこと) ・ 最近うれしかったことについて、読む人にわかりやすいように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。
	・ Let' s Listen ① Rank items in Order of Importance	
	・ Focus on Form ② 英語の文構造	
	・ Project ① Interview with Our ALT	【知識・技能】 (4 領域共通) (聞)・(読)・(話 [や])・(書) ・ インタビューで用いられている表現の意味や働きを理解している。 (聞くこと) ・ インタビューで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、ALT の先生へ

2 学期	Let' s Read ❶ The Wizard of Oz	のインタビューを聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 (読むこと) ・インタビューで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、Maki のグループが聞き取った内容をまとめた記事を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 (話すこと [やり取り]) ・インタビューで用いられている表現や Tool Box の表現を用いて、ALT の先生にインタビューする技能を身に付けている。 (書くこと) ・インタビューで用いられている表現を活用して、ALT の先生に質問する内容について考え、簡単な語句や文を用いてメモを書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (話すこと [やり取り]) ・インタビューした内容を記事にまとめるために、ALT の先生の基本情報や過去のこと、現在のこと、将来のことなどについて、簡単な語句や表現を用いて尋ね、回答してもらっている。 (書くこと) ・ALT の先生に関する記事を読んでもらうために、インタビューで聞き取った ALT の先生の回答を整理して、Step 1 の②で読んだ記事の文章構成を参考に、事実や自分たちの考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて紹介記事を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (話すこと [やり取り]) ・インタビューした内容を記事にまとめるために、ALT の先生の基本情報や過去のこと、現在のこと、将来のことなどについて、簡単な語句や文を用いて尋ね、回答してもらおうとしている。 (書くこと) ・ALT の先生に関する記事を読んでもらうために、インタビューで聞き取った ALT の先生の回答を整理して、Step 1 の②で読んだ記事の文章構成を参考に、事実や自分たちの考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて紹介記事を書くとしている。 【知識・技能】 (2 領域共通) (読)・(話 [や]) ・The Wizard of Oz を読むために必要な語句の意味や働きの理解している。 (読むこと) ・The Wizard of Oz を読むために必要な語句の意味や働きの理解を基に、Before Reading の情報を利用しながら、The Wizard of Oz を読んで、概要を捉える技能を身に付けている。 (話すこと [やり取り]) ・The Wizard of Oz を読んだ感想を、簡単な語句や文を用いて、伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (読むこと) ・物語の作者が伝えたかったことは何かについて理解するために、The Wizard of Oz を読んで、その概要を捉えている。 (話すこと [やり取り]) ・物語の作者が伝えたかったことや、登場人物について考えたことに関して、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (読むこと) ・物語の作者が伝えたかったことは何かについて理解するために、The Wizard of Oz を読んで、その概要を捉えようとしている。 (話すこと [やり取り]) ・物語の作者が伝えたかったことや、登場人物について考えたことに関して、簡単な語句や文を用いて、伝え合おうとしている。
-------------	---	---

★Unit 4 Society for All	【知識・技能】 (5 領域共通) (聞)・(読)・(話【や】)・(話【発】)・(書) ・現在分詞や過去分詞，接触節を用いた文の特徴やきまりを理解している。[P1-3] (聞くこと) ・現在分詞や過去分詞，接触節を用いた文の特徴やきまりの理解を基に，ピクトグラムの説明やロボットの紹介，訪問した場所について説明する日常会話を聞いて，その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] (読むこと) ・現在分詞や過去分詞，接触節を用いた文の特徴やきまりの理解を基に，ピクトグラムやサイボーグ技術，インクルーシブな公園に関する会話文や説明文を読んで，その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3] (話すこと【やり取り】) ・自分が好きな歌や聞いたことがある音楽について，事実や自分の気持ちなどを，過去分詞の後置修飾を含んだ文を用いて，尋ね合う技能を身に付けている。[P1-3 S] (話すこと【発表】) ・クラスメートの紹介をするために，現在分詞の後置修飾を含んだ文を用いて話す技能を身に付けている。[P1 EY] (書くこと) ・Speak で伝え合ったことについて，現在分詞や過去分詞の後置修飾，接触節を含んだ文を用いて正確に書く技能を身に付けている。[P1-3 W] 【思考・判断・表現】 (聞くこと) ・ユニバーサルデザインの具体例を説明する参考にするために，低床バスについての特徴やだれにとって使いやすいかなどの Jin の説明を聞いて，その要点を捉えている。[T&W] (読むこと) ・ユニバーサルデザインについて知るために，点字ブロックの発明者や発明のきっかけ，広く使われるようになっていく過程やその進化について書かれている記事を読んで，その概要を捉えている。[R&T] (話すこと【発表】) ・自分が調べたユニバーサルデザインの具体例について知ってもらうために，具体例として選んだものについて，どのような特徴があるか，だれにとって使いやすいかなどの事実や自分の考えを整理して，写真を見せながら簡単な語句や文を用いて話している。[T&W] (書くこと) ・自分が調べたユニバーサルデザインについて知ってもらうために，具体例として選んだものについて，どのような特徴があるか，だれにとって使いやすいかなどの事実や自分の考えを整理して，簡単な語句や文を用いて書いている。[T&W] 【主体的に学習に取り組む態度】 (聞くこと) ・ユニバーサルデザインの具体例を説明する参考にするために，低床バスについての特徴やだれにとって使いやすいかなどの Jin の説明を聞いて，その要点を捉えようとしている。[T&W] (読むこと) ・ユニバーサルデザインについて知るために，点字ブロックの発明者や発明のきっかけ，広く使われるようになっていく過程やその進化について書かれている記事を読んで，その概要を捉えようとしている。[R&T] (話すこと【発表】) ・自分が調べたユニバーサルデザインの具体例について知ってもらうために，具体例として選んだものについて，どのような特徴があるか，だれにとって使いやすいかなどの事実や自分の考えを整理して，写真を見せながら簡単な語句や文を用いて話そうとしている。[T&W] (書くこと) ・自分が調べたユニバーサルデザインについて知ってもらうために，具体例として選んだものについて，どのような特徴があるか，だれにとって使いやすいかなどの事実や自分の考えを整理して簡単な語句や文を用いて書こうとしている。[T&W]
------------------------------------	--

		いて書いている。[P1 EY] 【主体的に学習に取り組む態度】 (聞くこと) ・ Hina のプレゼンテーションについて友達に話すために、気候変動問題の解決策の 1 つとしての水素や水素の運搬方法としてアンモニアに変換すること、アンモニアも将来はエネルギー資源として期待されていることなどについての Hina のプレゼンテーションをスライドを見ながら聞いて、その要点を捉えようとしている。[L&T] (話すこと [発表]) ・ 「私の環境に優しい行動」を知ってもらうために、自分が取り組むことやその手段、「いつ」「どこで」「だれと」行うかなどについて、簡単な語句や文を用いて聞き手にわかりやすい表現で発表しようとしている。[T&S] (書くこと) ・ 自分が好きな人物や尊敬する人物を知ってもらうために、好きな人物や尊敬する人物について、事実や自分の考えや気持ちを整理して、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。[P1 EY] 【知識・技能】 (話すこと [やり取り]) ・ 関係代名詞や S+V+0 (疑問詞節), S+V+0+0 (疑問詞節) を含む文の特徴やきまりを理解している。 ・ 時間があるときによく行く場所について、関係代名詞や、S+V+0 (疑問詞節), S+V+0+0 (疑問詞節) を含む文を用いて尋ねたり、それに答えたりする技能を身に付けている。 ・ 現在分詞と過去分詞の後置修飾、接触節を含む文の特徴やきまりを理解している。 ・ インターネットをよく見る動画について、現在分詞と過去分詞の後置修飾、接触節を含む文を用いて、正確に文を書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (話すこと [やり取り]) ・ ペアの相手について知るために、相手が時間のあるときによく行く場所や、その場所のことや、そこですることなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしている。 (書くこと) ・ インターネットをよく見る動画について、読む人にわかりやすいように、どのような動画なのか、どのようなところが好きなのかを、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (話すこと [やり取り]) ・ ペアの相手について知るために、相手が時間のあるときによく行く場所や、その場所のこと、そこですることなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしようとしている。 (書くこと) ・ インターネットをよく見る動画について、読む人にわかりやすいように、どのような動画なのか、どのようなところが好きなのかを、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。 【知識・技能】 (4 領域共通) (聞)・(読)・(話 [発])・(書) ・ S+V+0+C (原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりを理解している。[P1-3] (聞くこと) ・ S+V+0+C (原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりの理解を基に、短い話や会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] (読むこと) ・ S+V+0+C (原形不定詞), 仮定法過去の特徴やきまりの理解を基に、栗山さんを紹介する文章を音読する技能を身に付けている。[P1-3] (話すこと [やり取り]) ・ S+V+0+C (原形不定詞) の特徴やきまりを理解している。[P1] ・ 教科書の Unit についての感想を相手に伝えるために、S+V+0+C (原形不定詞) の文を用いて、伝え合う技能を身に付けている。[P1 S]
	・ Focus on Form ③ 後置修飾／〈疑問詞＋主語＋動詞〉を含む文 ★Unit 6 Working in the World	

	・Let's Talk ② 乗り物を使った道案内	（話すこと【発表】） ・メジャーリーガーとして活躍する大谷選手について、Key Phrases を参考にして、簡単な語句や文を用いて紹介する技能を身に付けている。[R&T] （書くこと） ・Speak で話したことについて、S+V+O+C(原形不定詞)、仮定法過去の文を用いて正確に書く技能を身に付けている。[P1-3 W] 【思考・判断・表現】 （読むこと） ・大谷翔平選手の生き方を知るために、彼について書かれた文章を読んで、その内容を時系列に整理し、概要を捉えている。[R&T] ・「世界で活躍する人物」について紹介する際の参考にするために、Hina が書いた紹介文を読んで、どんな人をどのように紹介しているかなどの概要を捉えている。[T&W] （話すこと【やり取り】） ・友人からの楽しいことに誘われたときに断るために、一緒に行けないということと行けない理由を伝えるとともに、相手の気持ちを害さないように、簡単な語句や文を用いて伝えている。[P2 EY] （話すこと【発表】） ・大谷選手の今までに積み重ねてきた努力を知ってもらうために、Key Phrases を参考にしながら、事実と書き手の考えを整理して、簡単な語句や文を用いて、大谷選手のことを紹介している。[R&T] （書くこと） ・自分が考える「世界で活躍する人物」について知ってもらうために、その人物の職業と生き方、何をしているかなどの事実と、自分の感想や意見を整理し、紹介文を書いている。[T&W] 【主体的に学習に取り組む態度】 （読むこと） ・大谷翔平選手の生き方を知るために、彼について書かれた文章を読んで、その内容を時系列に整理し、概要を捉えようとしている。[R&T] ・「世界で活躍する人物」について紹介する際の参考にするために、Hina が書いた紹介文を読んで、どんな人をどのように紹介しているかなどの概要を捉えようとしている。[T&W] （話すこと【やり取り】） ・友人からの楽しいことに誘われたときに断るために、一緒に行けないということと行けない理由を伝えるとともに、相手の気持ちを害さないように、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。[P2 EY] （話すこと【発表】） ・大谷選手の今までに積み重ねてきた努力を知ってもらうために、Key Phrases を参考にしながら、事実と書き手の考えを整理して、簡単な語句や文を用いて、大谷選手のことを紹介しようとしている。[R&T] （書くこと） ・自分が考える「世界で活躍する人物」について知ってもらうために、その人物の職業と生き方、何をしているかなどの事実と、自分の感想や意見を整理し、紹介文を書こうとしている。[T&W] 【知識・技能】 （2 領域共通）（読）・（話【や】） ・「乗り物を使った道案内」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 （読むこと） ・「乗り物を使った道案内」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、観光案内所での会話文を読み取る技能を身に付けている。 （話すこと【やり取り】） ・「乗り物を使った道案内」で用いられている表現を活用して、乗り物を使った目的地までの行き方を、尋ねたり説明したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 （話すこと【やり取り】） ・目的地までの乗り物を使った行き方を尋ねたり説明したりする場面を想定して、路線図を使って今いる場所や目的地を自由に設定し、ペアでスキットを演じている。 【主体的に学習に取り組む態度】
--	-------------------------------------	--

	・Let's Listen ② Pay It Forward	(話すこと [やり取り]) ・目的地までの乗り物を使った行き方を尋ねたり説明したりする場面を想定して、路線図を使って今いる場所や目的地を自由に設定し、ペアでスキットを演じようとしている。 【知識・技能】 (2 領域共通) (聞)・(話 [発]) ・聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きを理解している。 (聞くこと) ・聞いているラジオ番組で用いられている語句の意味や働きの理解を基に、町のレストランで起きた出来事についてのラジオ番組を聞いて、その概要を捉える技能を身に付けている。 (話すこと [発表]) ・ラジオ番組を聞いて、それを聞いていなかった友達に簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (聞くこと) ・町のレストランで、ある男性客が近くのテーブルで食事をしていた 6 人の高校生に対して行ったことが、その後どのような展開をしていたのかについて話しているラジオ番組を聞いて、その概要を捉えている。 (話すこと [発表]) ・ラジオ番組の内容を友達に伝えるために、ラジオ番組で聞いた話について、だれが、何をして、何を感じたかを時系列に整理し、簡単な語句や文を用いて話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (聞くこと) ・町のレストランで、ある男性客が近くのテーブルで食事をしていた 6 人の高校生に対して行ったことが、その後どのような展開をしていたのかについて話しているラジオ番組を聞いて、その概要を捉えようとしている。 (話すこと [発表]) ・ラジオ番組の内容を友達に伝えるために、ラジオ番組で聞いた話について、だれが、何をして、何を感じたかなどを時系列に整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。 【知識・技能】 (2 領域共通) (読)・(書) ・Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 (読むこと) ・Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、Naomi の文章を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 (書くこと) ・自分の「私の過去・現在・未来」について、Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」で用いられている表現を活用して、正確に書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (読むこと) ・自分のリーフレットを作る際の参考にするために、Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」を読んで、その概要を捉えている。 (書くこと) ・自分の「私の過去・現在・未来」を書いたリーフレットを読んでもらうために、Step 2 で書いたメモをに対するクラスメートからの改善点を取り入れ、自分のこれまでの歩み (事実) と未来のこと (夢など) を、簡単な語句や文を用いて書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (読むこと) ・自分のリーフレットを作る際の参考にするために、Naomi が書いた「私の過去・現在・未来」を読んで、その概要を捉えようとしている。 (書くこと)
	・Project ② This Is All About Me -Autobiography-	

3 学期	・ Let' s Read ② English Is a Tool for International Communication ・ Focus on Form ④ 「～に…させる」などの表現 ／仮定法過去 ・ Let' s Talk ⑥ 誘いを断る	・ 自分の「私の過去・現在・未来」を書いたリーフレットを読んでもらうために、Step 2 で書いたメモに対するクラスメートからの改善点を取り入れ、自分のこれまでの歩み（事実）と未来のこと（夢など）を、簡単な語句や文を用いて書くとしている。 【知識・技能】 （3 領域共通）（読）・（話）【発】 ・ English Is a Tool for International Communication を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 （読むこと） ・ English Is a Tool for International Communication を読むために必要な語句の意味や働きの理解を基に、文章の要点を捉える技能を身に付けている。 （話すこと【発表】） ・ English Is a Tool for International Communication の内容について、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 （読むこと） ・ なぜ英語を学んでいるかを考えるために、English Is a Tool for International Communication を読んで、各段落でどのようなことが書かれているか要点を捉えている。 （話すこと【発表】） ・ 聞き手に理解してもらえるよう、English Is a Tool for International Communication の内容について、Step 1 や Step 2 を参考にしながら、簡単な語句や文を用いて話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 （読むこと） ・ なぜ英語を学んでいるかを考えるために、English Is a Tool for International Communication を読んで、各段落でどのようなことが書かれているか要点を捉えようとしている。 （話すこと【発表】） ・ 聞き手に理解してもらえるよう、English Is a Tool for International Communication の内容について、Step 1 や Step 2 を参考にしながら、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。 【知識・技能】 （話すこと【発表】） ・ 使役動詞や仮定法過去を含む文の特徴やきまりを理解している。 ・ 「もしも自分がスーパーヒーローだったら何をするか」について、使役動詞や仮定法過去を含む文を用いて、発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 （話すこと【発表】） ・ 聞き手にわかりやすいように、「もしも自分がスーパーヒーローだったら何をするか」について、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、順序だてて発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 （話すこと【発表】） ・ 聞き手にわかりやすいよう、「もしも自分がスーパーヒーローだったら何をするか」について、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、順序だてて発表しようとしている。 【知識・技能】 （読むこと） ・ 誘いを断る会話で用いられている表現の意味や働きを理解している。 ・ 誘いを断る会話で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、友達からの誘いを断る場面の会話文を読み取る技能を身に付けている。 （話すこと【やり取り】） ・ 誘われた時に、相手の気持ちに配慮しながら断る際の表現の意味や働きを理解している。 ・ 誘いを断る会話で用いられている表現を活用して、誘いを断る場面に応じて誘
-------------	---	---

		いを断る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (話すこと [やり取り]) ・他者から何かに誘われた場面を想定して、誘う内容や断る理由、相手の気持ちに配慮して断る表現などを Tool Box を参考に考え、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (話すこと [やり取り]) ・他者から何かに誘われた場面を想定して、誘う内容や断る理由、相手の気持ちに配慮して断る表現などを Tool Box を参考に考え、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じようとしている。 【知識・技能】 (5領域共通)(聞)・(話 [や])・(書) ・David さんのスピーチで用いられている語句の意味や働きを理解している。 (聞くこと) ・David さんのスピーチで用いられている語句の意味や働きの理解を基に、David さんのスピーチを聞いて、その要点を捉える技能を身に付けている。 (話すこと [やり取り]) ・David さんの地球温暖化についてのスピーチで伝えたかったことは何かについて、簡単な語句や文を用いてペアやグループで伝え合う技能を身に付けている。 (書くこと) ・David さんのチャドについてのスピーチで話している、チャドが抱える問題について、簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (聞くこと) ・地球温暖化問題について考えるために、環境に関わる活動に取り組む人のスピーチを聞いて、メモなどを取りながら、必要な情報(話し手が抱える問題)を聞き取っている。 (話すこと [やり取り]) ・地球温暖化問題について考えるために、David さんが話すチャドの状況や、David さんが子供に環境教育を行う NGO で取り組んでいる活動状況などの話から、David さんが伝えたかったことは何かについて、簡単な語句や文を用いて、ペアやグループで伝え合っている。 (書くこと) ・チャドの現状をより深く知るために、David さんがチャドについてのスピーチで話していることや、チャドが抱える問題について、簡単な語句や文を用いて書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (聞くこと) ・地球温暖化問題について考えるために、環境に関わる活動に取り組む人のスピーチを聞いて、メモなどを取りながら、必要な情報(話し手が抱える問題)を聞き取ろうとしている。 (話すこと [やり取り]) ・地球温暖化問題について考えるために、David さんが話すチャドの状況や、David さんが子供に環境教育を行う NGO で取り組んでいる活動状況などの話から、David さんが伝えたかったことは何かについて、簡単な語句や文を用いて、ペアやグループで伝え合おうとしている。 (書くこと) ・チャドの現状をより深く知るために、David さんがチャドについてのスピーチで話していることや、チャドが抱える問題点について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。 【知識・技能】 (2領域共通)(読)・(書) ・SNS に投稿された地域奉仕活動に関する投稿文で用いられている表現の意味や働きを理解している。 (読むこと) ・SNS に投稿された地域奉仕活動に関する投稿文で用いられている表現の意味や
	・Let's Listen ③ Fighting Global Warming	
	・Let's Write ② 投稿文への意見を書こう	

	・ Let' s Read ③ Rocket Boys	働きの理解を基に、投稿文の内容を読み取る技能を身につけている。 (書くこと) ・ 地域奉仕活動に関する投稿文で用いられている表現や文章構成を参考にして、投稿文に対する自分の意見を、正確に書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (書くこと) ・ 地域奉仕活動に関する投稿文に対する自分の意見を投稿するために、投稿文の文章構成を参考にしながら、自分の意見を理由や根拠を交え、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (書くこと) ・ 地域奉仕活動に関する投稿文に対する自分の意見を投稿するために、投稿文の文章構成を参考にしながら、自分の意見を理由や根拠を交え、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。 【知識・技能】 (2 領域共通) (読)・(話) [発] ・ Rocket Boys を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 (読むこと) ・ Rocket Boys を読むために必要な語句の意味や働きの理解を基に、Before Reading に書かれている伝記の背景を踏まえながら、Rocket Boys を読んで、その概要を捉える技能を身に付けている。 (話すこと [発表]) ・ Rocket Boys の内容について、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (読むこと) ・ Rocket Boys の内容を順番に話すために、時を表す表現に注目して、いつ何が起きたかを時系列に整理しながら Rocket Boys を読んで、その概要を捉えている。 (話すこと [発表]) ・ 聞き手に理解してもらえるように、Rocket Boys の概要を時系列に整理して、簡単な語句や文を用いて話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (読むこと) ・ Rocket Boys の内容を順番に話すために、時を表す表現に注目して、いつ何が起きたかを時系列に整理しながら Rocket Boys を読んで、その概要を捉えようとしている。 (話すこと [発表]) ・ 聞き手に理解してもらえるように、Rocket Boys の概要を時系列に整理して、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
--	--	--

中学校 3 年生 道徳科 学習案内

1 目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

2 学習の進め方

【使用教科書】 「中学道徳3 きみがいちばん ひかるとき」(光村図書出版)

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・教材(伝記、実話、論説文、物語、詩、劇など)から登場人物の立場に立って自分との関わりで道徳的価値について理解したり、そのことを基にして自己を見つめたり、物事を多面的・多角的に考えたりしよう。
- ・日常生活や学校の全教育活動の中での様々な体験から道徳的価値に触れ、自分との関わりで感じたり考えたりしよう。
- ・ペアでの対話やグループによる話し合いなどを通して考えを出し合ったり、まとめたり、比較したりしながらお互いの考えを深めよう。
- ・国語科における物語文の学習や社会科における郷土の学習、保健体育科におけるチームワークを重視した学習などと道徳科とを関連させて考えを深めよう。
- ・書く活動を通して、自らの考えを深めたり、整理したりしよう。
- ・動作化や役割演技、コミュニケーションを深める活動を通して感性を磨いたり、臨場感を高めたり、自分自身の問題として考えたりできるようになろう。
- ・板書を通して、思考の流れや順序を整理したり、友達との意見の違いや多様性を比べたり、構造的に理解したりする中で考えを深めよう。
- ・説話を通して、話の中にある価値あるところを主体的に捉え、人間としての生き方についての自覚を深めよう。

3 評価について

観 点

- ①道徳的価値の理解を基に自己を見つめている。
 - ②道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考えている。
 - ③道徳的価値の理解を基に人間としての生き方についての考えを深めている。
- このことを道徳科として評価を行っていくが、その際に数値でなく記述式で行い、他の生徒との比較ではなく本人がいかに成長したかを積極的に励ます個人内評価を行う。

4 学習内容について

※評価の観点の①～③は、「3、評価について」の「観点」①～③に対応しています。

学期	単元	評価の観点
1 学期	1 道徳の学習を始めよう	① 道徳科で大切にしたいことを考えながら、1年間の見通しをもっているか。 ② 友達の対話を楽しみ、友達の経験や考えを聞くことで、自分の考えを広げているか。 ③ 1年間の学びの見通しをもって、道徳科の学びを自分の生き方に関わらせながら考えていこうとしているか。
	2【向上心、個性の伸長】 がんばれ おまえ	① 物語の少年と自分自身とを重ね合わせ、自分にも少年のような側面がないかと、自分自身を見つめているか。 ② 短所を受け止めることの大切さや難しさなどについて、さまざまな考えがあることについて考えを深めているか。 ③ これから、短所も含めた自分らしさを大切にして生きていこうと考えているか。
	3【節度、節制】 「こち亀」は、四十年間休みなし	① 自分の生活習慣を振り返り、目標を設定し、改善した時間の使い方について考えているか。 ② 友達と交流することで、生活習慣に関するさまざまな考え方に触れ、自分の生活習慣の在り方を見直しているか。 ③ よい生活習慣を実践する意義を理解し、これからの生活の中で生かしていくことについて考えているか。
	4【友情・信頼】 私がピンク色のキャップをかぶるわけ	① 自分にとって、友達はどのような存在かを振り返っている。 ② 友達にとって、自分は価値ある存在となり得ているかを考えている。 ③ 友達の尊さを理解し、互いに励まし合ったり、高め合ったりできる関係を築いていこうとしている。
	5【礼儀】 礼儀正しさとは	① 自分は礼儀正しい言葉遣いや行動、しぐさができているかを振り返っている。 ② 礼儀正しい行動が人に与える影響とともに、自分自身の心に変化を起こすことに気づいている。 ③ 大切にしていきたい礼儀について考え、普段の生活の中に生かしていこうとしている。
	6【生命の尊さ】 「リクエスト食」に込められた思い	① 大谷さんや池永さんが患者さんと向き合うときに大切にしている思いについて、自分に引き付けて考えているか。 ② 死がせまる人たちに寄り添う、大谷さん、池永さんのそれぞれの思いに触れ、自分や他者の命を大切にすることについて考えを深めているか。 ③ 生命の有限性を理解し、かけがえのない命を大切にしていくことについて考えを深めているか。
	7【公正、公平、社会正義】 小さな出来事	① 日々の生活を振り返り、自分は、誰に対しても公正、公平に接しているかを振り返っているか。 ② 誰に対しても、公正、公平な態度で接することの難しさや大切さについて考えているか。 ③ これから、誰に対しても公正、公平に接する生き方を目指していこうと考えているか。
	8【自主、自律、自由と責任】 三年目の「ごめんね」	① 責任ある行動が取れた経験や取れなかった経験について、振り返っている。 ② 伊藤さんに「ありがとう。」と言われたときの「私」の考えを、さまざまな視点から考えている。 ③ 自分の行動に責任をもつ生き方について考えたことを、今後の生活の中で生かそうとしている。
	9【相互理解、寛容】 アイツとオレ	① 自分が知らず知らずのうちに差別的な考えをもっていないかを振り返っている。 ② さまざまな角度から「あってはならない違い」や、その「違い」をなくすための解決方法を考えている。 ③ 差別や偏見のない社会をつくるために、自分がどのような考え方をもち、どう行動していけばよいと考えている。
	10【学校生活、集団生活の充実】 私たちの合唱祭	① 合唱の在り方を考えるにあたって、自分の経験を振り返っているか。 ② 教科書で示されているさまざまな観点をヒントに、よりよい学校をつくるための合唱祭の在り方を検討しているか。 ③ よりよい学校をつくるために、これから自分には何ができるかと考えている。

2 学期	1 1 【思いやり、感謝】 言葉が見つからないとき	① これまで自分が思っていた思いやりや感謝とは、どのようなものかと振り返っているか。 ② 相手を思いやることと相手に感謝することの両面から、他者と暖かい関係を築くことについて考えているか。 ③ 人を思いやることや感謝することの尊さを意識したうえで、これからの人との関わり方について考えているか。
	1 2 【自然愛護】 タコをたどって見えるもの	① タコを巡る問題をきっかけに、自分の生活と他国の自然とのつながりについて考えているか。 ② 自然環境を大切にしながら生活するのに必要な考え方について、友達と話し合うことで視野をひろげているか。 ③ 自然を大切にしながら生きていくために、これからの自分に何ができるのかを考えているか。
	1 3 【向上心、個性の伸長】 自分を輝かせるには	① 普段の生活を振り返り、「自分を輝かせる言葉」を見つけることで、自らの個性について考えているか。 ② 友達や、教材に書かれた人々の「自分を輝かせる言葉」から、自分を向上させる生き方について考えているか。 ③ これからの生活の中で、自分の個性を大切にして自己を向上させていこうと考えているか。
	1 4 【勤労】 働く姿から見えるのは？	① 働くことについて、自分の将来の姿と結び付けて考えているか。 ② 教材を通して、一つの職場においてもさまざまな立場や職種、仕事に対する思いがあることについて考えているか。 ③ 自分自身の仕事に向き合う姿勢が、社会や組織の在り方にも影響を与えることについて考えているか。
	1 5 【感動、畏敬の念】 サグラダ・ファミリア ——受け継がれていく思い	① 先人から自分たちに託されているものを考える中で、自分との関わりで「時を超えてつながる思い」について見つめている。 ② 時を超えてつながる思いについて、ガウディの視点や外尾さんの視点など、さまざまな角度から考えている。 ③ 先人から託されているものについて、考えを巡らせている。
	1 6 【生命の尊さ】 「きみは赤ちゃん」より	① 自分の命に対する考えを見つめ、新たな見方で命のかけがえのなさについて考えを深めているか。 ② 筆者の息子への思いを知り、友達と話し合う中で、命の大切さや尊さに対する考えを広げているか。 ③ これからの生活の中で、かけがえのない生命を尊び、自他の生命を大切にしていこうについて考えているか。
	1 7 【違法精神、公德心】 漫画泥棒	① SNSを利用するすべての立場において、「自分だったら」という見方で、「権利」について考えているか。 ② SNSを見る人、SNSに投稿する人、SNSに投稿される人、それぞれの立場から、「他者の権利を守ること」について考えているか。 ③ 生活のさまざまな場面で、自他の権利を大切にしながら、自らの義務を果たしていくことについて考えているか。
	1 8 【自主、自律、自由と責任】 インターネット社会の中で	① インターネットの利用者として、自分の責任について考えているか。 ② インターネットで初めに投稿する人、誰かの意見に対し書き込みをする人など、さまざまな立場に立って、トラブルの原因を考えているか。 ③ インターネット社会の一員として、自らを律し、責任ある行動を取ることの大切さについて考えているか。
	1 9 【家族愛、家庭生活の充実】 家族って？家庭って？	① 自分の考える理想の家族像や、家庭の役割を思い描いているか。 ② 家族の形や家庭の役割はさまざまであることを知り、固定的な家族・家庭の考えから視野を広げている。 ③ 家族や家庭について考え、自分の理想の家族像に近づくためにこれからできることについて考えているか。
	2 0 【郷土の伝統と文化】 好いとっちゃん、博多	① 郷土の伝統や文化、郷土そのものに目を向けて、自己の生活との関わりを見つめようとしているか。 ② 「郷土を愛する心」には、さまざまな思いが重なり、その思いは人それぞれであることを考えている。 ③ 受け継がれてきた郷土の伝統や文化、また自分の暮らす地域に、どう関わっていきたいか、将来の生き方に重ねながら考えている。
	2 1 【国の伝統と文化】 障子あかり	① 普段の生活の中で、日本文化について知り、理解しようとしているかを振り返っている。

3 学期	2 2 【社会参画、公共の精神】 一票を投じることの意味	② 外国の文化との対比の中で、日本の文化のよさを改めて考え直している。 ③ 日本文化についての知識を深め、そのすばらしさを継承、発信していこうと考えている。
	2 3 【よりよく生きる喜び】 足袋の季節	① 自分が選挙をどう捉えているか、また、どのように社会に参画していきたいか、見つめている。 ② 投票ができるまでの3年間に、どのようなことができるか、さまざまな角度から考えを深めている。 ③ よりよい社会を実現するために自分のできることをしていこうと考えている。
	2 4 【希望と勇気、強い意志】 希望のカレンダー	① 自分はどのような人間かを見つめている。 ② 「少年」の思いと重ね合わせて、自分にもさまざまな面があることに気づいている。 ③ 自分の個性を大切に、伸ばしながら、自分らしく生きていこうと考えている。
	2 5 【公正、公平、社会正義】 ぼくの物語 あなたの物語	① これまでの自分の経験を振り返り、自分にとって「希望」とは何か、考えているか。 ② 「希望学」や「希望のカレンダー」を巡る思いなどから得られた、「希望」についてのさまざまな見方から、「希望」とは何かを考えているか。 ③ 希望を失わず、挫折や失敗を乗り越え、自らが変わっていけると信じることにについて考えを深めている。
	2 6 【公正、公平、社会正義】 あってはならない違い	① 自分が知らず知らずのうちに差別的な考えをもっていないかを振り返っている。 ② さまざまな角度から「あってはならない違い」や、その「違い」をなくすための解決方法を考えている。 ③ 差別や偏見のない社会をつくるために、自分がどのような考え方をもち、どう行動していけばよいと考えている。
	2 7 【相互理解 寛容】 ソーシャル・ビュー —見えない人と楽しむ美術鑑賞	① 今まで、自分の周りの「あってはならない違い」を見逃していなかったかと振り返っているか。 ② 複数の事例から、身近な生活の中に潜む「あってはならない違い」を考え、公正、公平な見方について考えを深めているか。 ③ 自分の考える「あってはならない違い」を見つめ、公正で公平な社会をつくるために、自分には何ができるかを考えているか。
	2 8 【心理の探求 創造】 鉄腕アトムをつくりたい	① 普段の生活の中で、他者から学んだことや互いを尊重し合えた経験を振り返り、相互理解について、自分のこととして考えているか。 ② ソーシャル・ビューから見えてくる人と人との関わり方を知り、新しい見方で、それぞれの個性を生かすとはどういうことかを考えているか。 ③ 他者と共に生きていくために、互いのものの見方や考え方を尊重し、一人一人の違いを大切にしながら生きていくことについて考えているか。
	2 9 【相互理解 寛容】 恩讐の彼方に	① 真理を求め、好奇心をもって探求し続けることの大切さを、自分のこととして考えているか。 ② 筆者の経験や考え方を知り、友達の意見を聞くことで、真理を探究する心について、さまざまな見方で考えているか。 ③ 好奇心をもって意欲的に学び、工夫して新しいものを創造していくことについて考えを深めているか。
	3 0 【国際理解 国際貢献】 希望の義足	① 自国だけのことを考えて生きるのではなく、国際的な視野に立って考えていこうとしているか、振り返っている。 ② 支援する側の気持ちだけではなく、支援される側の気持ちになって、国際貢献について考えている。 ③ 将来にわたって、国際的な視野に立って世界の平和について考えていこうという意欲をもっている。

	3 1 【希望と勇気 強い意志】 私の再出発 3 2 【真理の探究 創造】 「学び」の本質を探ろう 3 3 【生命の尊さ】 命と向き合う 3 4 1 年間の学びを振り返ろう 【遵法精神、公德心】 3 5 二通の手紙	① 今まで困難や逆境に直面したとき、どのように向き合ってきたかと自分を振り返っているか。 ② 見目律子さんの思いに触れ、友達の多様な考えを聞き、学ぶことや自分を高めることの意義についてさまざまな視点から考えているか。 ③ 困難や逆境に直面したときも、それに向き合い、自分自身を高めていくことについて考えを深めているか。 ① みんなが納得できる『『学び』とは何か』という答えを創りあげること、自分の考えを深めているか。 ② 自分と他者との考えの違いを比較・検討しながら、これまで気づかなかった「学び」の本質について考えを深めているか。 ③ 「学び」の本質を自分の生き方に関連づけて考え、自ら学ぼうとする心を大切にしていくことについて考えているか。 ① 命の尊さについて、筆者のいう3つの視点から考え、自分は自他の命を大切にしているかを振り返っている。 ② 命の尊さについて、偶然性や、連続性、つながりや関係性、死と世代交代などの観点を基に考えている。 ③ 「命のある間を思い切り生きた」と言えるような生涯にしていこうと考えている。 ① 1年間の道徳科の学びを振り返り、「手紙～拝啓十五の君へ～」を読んで話し合うことで、自分の思いを見つめているか。 ② 学年当初の目標に照らして、自分の変化や成長など、さまざまな角度から自身の学びを振り返り、自己評価しているか。 ③ これまでに学んできた道徳的な価値や、よりよく生きていくために大切なことを、これからの生活にどう生かしていきたいかと考えているか。 ① これまでの生活を振り返り、自分に関わる法や規則の意味を考えている。 ② 規則は何のためにあるのか、さまざまな面から考えている。 ③ 規則の意義を理解したうえで、どのような考え方で生活していくことが大切か、考えを深めている。
--	--	---